

平成12年度の決算見込みを家庭の家計簿に例えると。

いしかわ家の家計簿

支 出		収 入	
生活費 (県の職員、学校の先生、警察官などの給料)	174万円	給料 (県税、地方交付税、国からの補助金など)	472万円
家の増改築費 (道路、公園整備などのハード事業に要する経費)	257万円	その他収入 (使用料及び手数料など)	115万円
教養費 (教育、福祉などのソフト事業に要する経費)	185万円	預貯金の引出 (基金の取り崩しなど)	7万円
ローン返済 (県債の返済 うち50万円が地方交付税などにより補てんされました。)	79万円	ローン借入 (県債の発行 うち66万円が地方交付税などにより補てんされます。)	111万円
合計	<u>695万円</u>	合計	<u>705万円</u>

前ページの平成12年度一般会計決算見込みを、わかりやすく、より身近なものとしていただくために、10万分の1の金額(例えば6,950億円 695万円)にして、家庭の家計簿に例えて作成してみました。

この結果、平成12年度のいしかわ家は年収705万円に対して、支出額が695万円になる見込みです。

年収から支出を引くと10万円の黒字となりますが、そのうち、翌年度の支出にまわす金額を除くと、実際は9千円の黒字になる見込みです。

これからも健全な家計維持に努め、家族の夢の実現に向け取り組んでいきます。

【いしかわ家の家計簿解説】

いしかわ家では、支出の節約に努めました。

- ・成果指標を用いて事務事業の効果や効率性を評価する行政評価（試行）を実施しました。
- ・事務事業の終期を設定し、効率的な財政運営を推進しました。
- ・行政部門職員総数を抑制し、適正な定員管理に努めました。

また、収入の確保にも努めました。

- ・県税滞納を縮減するため特別滞納整理班を設置しました。
- ・活用していない土地を市町村などへ売り払いました。

これらの努力により、

ローンの期限前返済を行うことができました。

- ・県債の繰上げ償還を行いました。（50億円）

年度当初に計画していた預金解約の大半を取り止めることができました。

- ・基金の取り崩しを取り止めました。

	[当初予算]	[最終予算]
減債基金取崩額	165億円	10億円
財政調整基金取崩額	30億円	5億円
県有施設整備基金取崩額	6億円	0
計	201億円	15億円 (186億円)

